

鈴与グループの中核会社で建設事業を担う鈴与建設（静岡市清水区）がインナーブランディングの強化に取り組んでいる。今年に入って管理職以上の全社員約100人を対象に、インナーブランディングの研修を順次実施。自社の経営理念



鈴与建設（静岡市清水区）

インナーブランディングを強化

高めていく。
一つの個を大事にする。
そして、その個が自立し、
自分自身で生きていく中から他との共生が生まれてくる――。

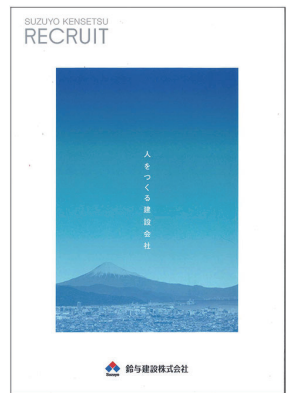
管理職のインナーブランディング研修



この「共生（ともいき）」を一段と深めてもらう」との考え方を鈴与グループは、長年にわたり経営のよりどころとしてきた。現代に解釈すると、個を自立した企業、個々の社員として捉え、自らと全てのステークホルダーを結び付ける精神的な支柱としている。鈴与建設の櫻井重英社長は「技術者としての誇り、挑戦心、個性を備えた人材の確保・育成が急務であり、社員一人一人の強さが企業の強さに直結する」と話す。人材育成の一環で、「新たに社員研修を強化し、経営理念を唱えるだけでなく具体的な行動に移すことにより、会社と事業への理解

まずは全ての管理職を対象に、外部講師を招いて少人数のワークショップを1月から5月まで実施。各自が受け身でなく、能動的に取り組むことで、新たな気付きを促す。管理職らが得た気付きは、日常業務を通じて部下への浸透を図る。これまでグループや個人の経営理念・方針、トッ プメッセージを発信してきたが、「単に文字や言葉では伝えきれないものがあった」と櫻井社長。今回のインナーブランディングの研修について、「一つ一つの言葉に込められた意図や思

リクルート用パンフレットで「人をつくる建設会社」のメッセージを発信



いを体系的に捉えられ、共生の精神という基本理念と当社が求める社員像とがどう結び付いているかが、改めてよく理解できたと思う」と評価する。

このほか、新任管理職を対象にした研修「鈴与建設ビジネススクール」も今年4月に始動。2カ月に1回のペースで1年間にわたり「リーダーシップ」「コミュニケーション」など、さまざまなテーマで講義を行い、管理職としての能力向上を後押しする。外部講師

だけでなく、毎回役員も登壇して双方のコミュニケーションを図りながら、次世代の幹部候補の発掘・育成につなげる。

技術というサービスを提供する会社として、どのように人的資源を充実させていくか。教育や評価・処遇など、人事制度改革プロジェクトを進める櫻井社長は「3年後をめどに関連制度を確立し、5年後には成果を出していきたい」と意気込む。

人口減少に拍車が掛かり、採用活動による人員増が一段と難しくなる中、鈴与建設は社員一人一人の個の力を一層引き出すことで企業の持続的成長、発展の基盤を構築する考え。建設分野の人づくりで地域のリーダーリングカンパニーを目指す。

人づくりで地域のリーダーリングカンパニーに

や社会的使命・価値などをより深く認識し、会社を支える個々人のアイデンティティを明確にすることで、モチベーションの向上や行動変容につなげる狙いだ。研修の拡充や人事制度の改革を進めつつ、会社と社員の一体感を醸成し、組織全体のパフォーマンスを